

平成30年度の基本方針

新政会代表
立谷耕一議員



問 平成30年度に取り組み施策の基本方針について問う。

答 相馬市復興計画及び相馬市マスタープラン2017に掲げる施策を着実に実行していく。

東日本大震災から7年が経過し、市当局の尽力により、災害市営住宅等に被災者の生活再建の基盤は整備されてきましたが、生活支援は今後も必要である。

被災者支援の観点も含め、マスタープランに基づき今後どのような取り組みを行っていくのか伺う。

問 平成30年度に取り組み施策の基本方針について問う。

答 相馬市復興計画及び相馬市総合計画相馬市マスタープラン2017に掲げる施策をこれまでと同様に着実に実行していく。

1	震災から復興した新たな相馬市づくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織が実施する防災訓練への支援 ・自主防災組織が結成されていない地区での組織化の促進 ・避難道路の早期整備
2	安心な子育て環境の整備と心豊かな人づくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・小、中学校の給食食材費の全額を市が負担するとともに、本市産品を優先的に活用し地産地消を推進 ・子供、保護者、教職員の心のケアの継続 ・小、中学校の校舎改築や設備改善 ・飯豊小学校放課後児童クラブ施設の整備
3	地域特性を生かした良質な産業づくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・相馬市産米の放射性物質全量全体検査の継続 ・射撃場の整備や猟銃購入助成などの鳥獣被害対策 ・水産物等直売施設の整備 ・原釜尾浜海水浴場の再開
4	環境を守り安全と暮らしやすさづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・地域見廻り隊による防災パトロール ・被災者支援のためのワンストップサービス困り事相談所及び多重債務や消費生活に関する相談窓口の開設 ・放射能対策による市民の不安解消と子供たちの健康管理 ・外部被曝測定及び内部被曝測定検査の継続
5	着実な社会資本の整備と計画的なまちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・住民生活の利便性向上と観光資源の一つとなることが見込まれる市道大洲松川線の再開発 ・尾浜地区交流復興広場と屋内多目的施設の整備

マスタープラン2017の施策の主要5項目のうち、平成30年度において取り組む地域再生、被災者支援に関する主な具体的事業

5回目の市長選挙での感想

問 市民の声、気持ちをどのように受け止めたか伺う。

答 市民の皆様の声は、今後市政を運営するに当たり貴重な意見として心に留めたい。



未来そうま代表
只野敬三議員

昨年12月24日執行の相馬市長選挙結果について、私は市民の圧倒的支持を受けたものと思っています。

これは、市長本人の能力はもちろんだが、多くの協力者のおかげであり、何より多くの市民がその想いを立谷市長に託した結果だと思っ。

我々選挙をするものは、それぞれの市民の想いを肩に背負い、与えられた時間を大切にしっかりと取り組んでいかねばならないものと考え。

問 市民の声、気持ちをどのように受け止めたか

伺う。

答 選挙の結果として市民の皆様から信任をいただいたと思っっている。市民の皆様の声は、今後極力市政に反映できるように、市政を運営するに当たり貴重な意見としていろいろと心に留めさせていたきたい。

問 市道の整備、まちの賑わいづくり、磯部・玉野地区の振興、高齢者の足の確保等を望む市民の声に対しての所見を問う。

答 市道の整備については、社会資本整備総合交付金という国の制度を利用し、鋭意取り組んでい

きたい。まちの賑わいづくりについては、子育て支援と所得の向上を図るため、優良な企業の誘致に努めていきたい。磯部・玉野地区の振興については、地域の皆さんの意向に沿った形で振興策を進めてまいりたい。高齢者の足の確保については、おでかけミニバスの運行を4台体制としたが、さらに増便を考えており、地域の皆さんの意向に沿って提供していきたいと考えている。

その他の質問
・市長としての今後4年間の取り組み
・地方創生事業